

the もりおか人 びと vol.5

ベリーダンスの全国大会である「The ONE Belly Dance Festival & Competition」(ザ・ワン・ベリーダンスフェスティバル・アンド・コンペティション)(The ONE 運営事務局主催)の、ノンプロフェッショナルオリエンタルソロ部門で全国2位に輝いた石川希羽さん(岩手大付属中1年)を紹介します。



世界の舞台上で舞いたい

石川希羽さん

The ONE 運営事務局提供

ベリーダンスを初めて見たのは3歳の時。華やかな衣装が印象的でした。自分も踊ってみたいと教室に通い始め、新しい技を覚えることが楽しくて、やめたいと思ったことは一度もありません。

小学5年の時に初めて出場した大会では、ステージに立つ寸前まで緊張して不安でしたが、音楽が鳴り始めると無我夢中で踊りました。今回は、あまり緊張することなく、練習で覚えた技の一つ一つを表現することができました。でも、出場したのは年齢制限がない部門だったので、まさか入賞できるとは思っていませんでした。

普段あまり褒めてくれない父が「すごいな、お前は」と言ってくれたのがとってもうれしかった！先生をはじめ、周りのみんなが支えてくれたおかげだと思います。これからもまだまだうまくなれると思っているので、たくさん練習して技にもっと磨きをかけ、いずれは海外の大きな舞台に立ちたいです。



練習風景

写真deもりおか



91

災害への備えを再確認

震度6弱の地震を想定した市総合防災訓練を城北小(みたけ三)などで実施しました。災害時に発生する火災の煙体験や心肺蘇生法、倒壊した建物の中に取り残された人の救助など、非常時の対応方法を訓練。参加した市民は、もしもの時にそれぞれが担う役割を改めて確認していました。



96

盛岡をもっと盛り上げたい

本年度、新たに4人が地域おこし協力隊に加わりました。左から藪川地域の新たな特産品開発を目指す袴田優樹さんと盛岡のスポーツを盛り上げる木村有梨さん、大ケ生地域で農業などの支援に取り組む富岡美恵さん、築川地域で農産物の生産拡大を目指す中矢慶子さん。各分野から盛岡の魅力を発信します。



99

ランナーが啄木の里に集結

啄木の里ふれあいマラソン大会2018を浜民運動公園(川崎字川崎)周辺で開催しました。スタート時点で降っていた雨も徐々に上がり、選手たちは声援に笑顔で応えながら啄木の古里を走りました。競技後には手作りの豚汁やおにぎりなどを食べ、自然豊かなコースと心温まるおもてなしを堪能していました。

<p>もりけんに挑戦 (9ページに掲載)の答え ④紫根染</p>	<p>広報もりおかへのご意見をお待ちしています アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。</p> 	<p>編集後記 普段から男女共同参画に関心を持ち、データ収集や解決策の提案に取り組んでいる盛岡一高の4人。紙面にもたくさんアドバイスをしてくれました。(館澤)</p>	 <p>地球環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しています。</p>
--	---	---	---